

くれあ通信

発行★株式会社クレア

〒351-0006 埼玉県朝霞市仲町1-11-48-303
 TEL / FAX 048 (485) 8540
<http://www.crea-nv.jp/>

くれあ通信

朝霞紹介

新座のお店

前回に引き続き新座のお店を紹介したいと思います。海も山も遠いこの埼玉県でお値段が手頃で美味しい魚が食べられる処「磯料理 マルサ」新座の通称水道通りにあり、いかい看板が目印。獲り沢山有りますか。「鰻」寿司「ナ割」は海鮮料理”等々”なんでも屋。そこで感じで入りにくま

満点です。中に入ると広々といて生けるが有り、魚が悠々と泳いでいます。席もテーブルと掘ったつの座席。小さな子供が一緒だと、座敷席がある。とゆっくり出来て嬉しいです。

先に述べた通りなんでもありですが、ここではやはり海鮮ものを頼まないと意味がないです。平日ランチもある。お刺身が食べたくなったら行ってみて下さい！

書籍紹介

第四回は村上龍氏の「希土まの国のエクリワダス」です。今すぐにごさる教育改革の方法は？。この国に於し、氏が出した答えは、今すぐには数十万人を超え、集団不登校が起こること。このQ&Aがこの小説のモティーフとなります。

「この国には何でもある。本当に何でもありませう。ただ希望だけが無い。」

集団不登校を遠くた中学生の代表の言葉です。彼らが現代社会からのエクリワダス(輸出)を成し返していく様は、現代社会を生き続ける我々に、希望の姿を垣間見せてくれます。

2010年 7月 Vol.4

先日全仏オープンが終わり、たと思たらもうウィンブルドンが始まりました。特に注目すべきはクルム伊達選手でした。残念ながら14年ぶりウィンブルドンでの勝利はなりませんでしたが全仏のサファイナ戦は、本当に見事でした。勇気づけられた人は沢山いたんじゃないでしうか。復活をする前の往年の伊達選手をテレビでよく観戦したものです。彼女のメンタリティは目を見張るものがあります。今後の活躍大いに期待しています。

「映画紹介」今回は黒澤明監督の「羅生門」を取り上げます。一九五〇年に公開されたその翌年にヴェネチア国際映画祭でグランプリを取りました。ヴェネチア国際映画祭では日本の日本人監督の作品がグランプリである金獅子賞を取っているのです。その栄えある1つ目の作品がこの「羅生門」です。この映画のすばは、何と云っても宮川一夫のカメラであり、こだわり抜いた太陽の光線美で、もうそれで冒頭から画面を席巻する強雨は、その水の流動とたたきつけの激しい音で、観客の心にも揺さぶりと

痛烈な意識の覚醒を呼び起こします。門でのやり取りや藪の中での人間模様のいすれを取って、も素晴らしい画の連続です。黒澤明監督のすばは、信念とも言える筋の通った構図であり、シーンからにじみ出る息吹まで、それを妥協なく紡いでいるのです。物語性も映画では重要なファクターですが、映画の本質はそれとは別で、その表象性にあるように思います。その最たる例がこの「羅生門」ではないでしょうか。未見の人には是非その美にふれてみて下さい。